

# すべての女性のために・・・ 公明党は実現してきました。

## 01 「女性専門(用)外来」の設置を推進

女性の医師やスタッフが中心で女性特有の心身の症状に細やかに対応する「女性専門(用)外来」の設置を提唱。民間病院も含め、全国で着実に拡大しています。



## 02 「不妊治療」への助成を拡充

不妊治療への助成金について、支給期間を通算2年から5年に延長。支給額も「1回15万円を年2回まで」に拡充しました。



## 03 「さい帯血移植」に保険適用

白血病などの治療に効果のある「さい帯血移植」の保険適用が実現して11年。移植手術は着々と普及し、2009年末に6000例を突破しました。



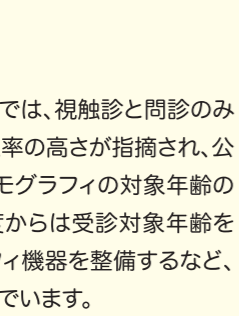
## 04 「アレルギー対策」を推進

容器包装された加工食品にアレルギー症状を起こす品目の表示義務化や、急激で重い症状であるアナフィラキシーショックの救命用アドレナリン自己注射薬「エピペン」の早期承認、学校での対応をまとめた「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」の全国の学校への配布など、一貫して対策を進めてきました。



## 05 マンモグラフィの拡充

自治体が行う50歳未満の乳がん検診では、視触診と問診のみとされてきました。しかし、40歳代の罹患率の高さが指摘され、公明党は国会質問や署名運動を通じ、マンモグラフィの対象年齢の見直しを要請してきた結果、2004年度からは受診対象年齢を「40歳以上から」に拡大し、マンモグラフィ機器を整備するなど、一貫してマンモグラフィの推進に取り組んでいます。



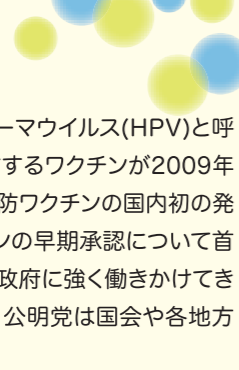
## 06 「医療用サポーター」の保険適用

腕や脚がむくむリンパ浮腫治療用の医療用サポーター(弾性着衣)購入費用が、2008年4月から保険適用されました。治療に欠かせない医療用サポーターは高額で家計に重くのしかかっていました。



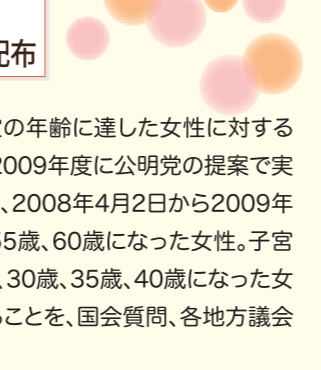
## 07 子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がんの主な原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)と呼ばれるウイルスです。ウイルス感染を予防するワクチンが2009年10月に厚生労働省で承認。12月22日、予防ワクチンの国内初の発売が開始されました。公明党は、同ワクチンの早期承認について首相への要請、国会質問、署名活動を行い、政府に強く働きかけました。接種費用の公費助成についても、公明党は国会や各地方議会で強力に推進しています。



## 08 乳がん・子宮頸がん無料クーポン券と検診手帳の配布

女性特有のがん対策として、一定の年齢に達した女性に対する乳がん・子宮頸がんの無料検診が2009年度に公明党の提案で実現しました。乳がん検診の対象者は、2008年4月2日から2009年4月1日までに40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった女性。子宮頸がん検診は同時期に20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった女性。公明党は来年度以降も継続することを、国会質問、各地方議会で推進しています。



東京都がん検診支援サイト「受けよう!がん検診」  
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/index.html>

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」  
<http://www.himawari.metro.tokyo.jp>

国立がんセンターがん対策情報センター「がん情報サービス」  
<http://ganjoho.jp>



公明党  
モバイルサイト

公明党HP ♥ <http://www.komei.or.jp/>  
iWoman ♥ <http://www.iwoman-net.com/>

3月1日～8日は「女性の健康週間」

# もっと、知ってほしい あなたの体のこと

“私は大丈夫!”と、  
思っていないませんか?

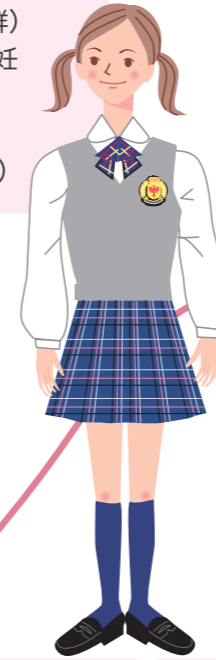
♥ KOMEI

公明党東京都本部女性局

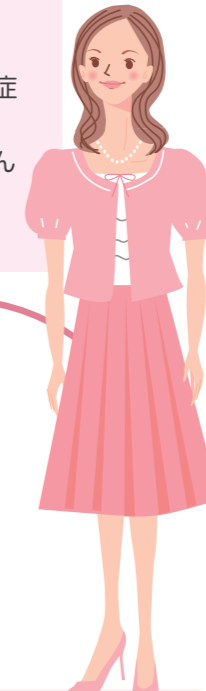
## 女性の ライフサイクルと 各種健康診断

女性ホルモンは体の中で様々な働きをしています。女性ホルモンは年齢によって平均的分泌量が変化し、この変動により、体や心にも変化が起こります。このため、年齢によって注意したい症状や病気も異なってきます。年齢に応じた、定期検診を受けましょう。

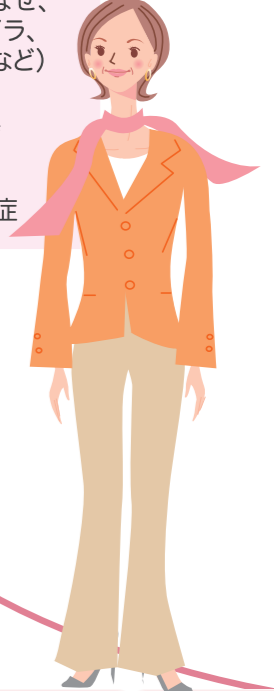
- 月経不調
- PMS (月経前症候群)
- 性感染症、避妊
- 生活習慣 (ダイエット、若年者の喫煙)



- 妊娠、出産
- 不妊症
- 不正出血
- 子宮内膜症
- 子宮筋腫
- 子宮頸がん
- 卵巣がん
- 乳がん



- 更年期障害 (肩こり、のぼせ、うつ、イライラ、冷え、腰痛など)
- 尿もれ
- 生活習慣病
- 子宮体がん
- 骨粗しょう症



月経開始  
思春期

妊娠・出産  
成熟期

閉経  
更年期

10歳 20歳 30歳 40歳 50歳 60歳

子宮がん検診 2年に1回

乳がん検診 2年に1回

その他のがん検診 (胃・肺・大腸) 年1回

骨粗しょう症検診

特定健診・特定保健指導 (生活習慣病)

各種健康診断

HIV抗体検査等